



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 株式会社 日本マイクロニクス 上場取引所 東
 コード番号 6871 URL <https://www.mjc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 正義
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 片山 ゆき TEL 0422-21-2665
 管理本部副本部長
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	25,522	△15.3	2,663	△57.7	2,736	△61.5	1,736	△61.0
2022年12月期第3四半期	30,135	5.9	6,302	△1.1	7,107	6.7	4,447	△3.3

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 2,504百万円 (△50.3%) 2022年12月期第3四半期 5,038百万円 (△8.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	45.02	45.01
2022年12月期第3四半期	115.58	115.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	52,417	38,854	74.1
2022年12月期	54,385	38,631	70.9

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 38,854百万円 2022年12月期 38,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	0.00	0.00	0.00	59.00	59.00
2023年12月期	0.00	0.00	0.00		
2023年12月期（予想）				29.00	29.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 配当予想の修正については、本日（2023年11月13日）公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,800	△14.7	5,300	△42.6	5,300	△49.2	3,700	△50.9	95.92

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 連結業績予想の修正については、本日（2023年11月13日）公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	40,025,316株	2022年12月期	40,025,316株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	1,443,179株	2022年12月期	1,481,226株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	38,574,505株	2022年12月期3Q	38,477,912株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は2023年11月13日に当社ホームページへ掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、エネルギーコストや原材料費の上昇の継続、欧米のインフレ抑制のための金融引き締めが長期化しており、経済の後退懸念が高まりました。

半導体市場においては、特にメモリ半導体において価格下落が続き、工場稼働の抑制や投資の後ろ倒しによる供給能力の調整が行われたものの、在庫の解消には時間がかかる見込となりました。一方、最終製品であるスマートフォンやパソコンなどの出荷に底入れの兆しがみられました。半導体・電子部品の需要を強力に牽引する材料とはならないものの、市場の安定化に向けては明るい材料となります。また、AIサーバーの出荷台数は前年同期比で増加しており、メモリ半導体のDRAM市況に好影響をもたらしています。しかし、データセンター分野は不透明なマクロ動向を反映して回復が遅れており、全体として半導体市況の本格的な回復は見えにくい状況となりました。

FPD市場においては、TV用液晶パネルの在庫調整が進んだことで価格下落は収まったものの、需要の上昇は感じられず、工場稼働の調整に繋がっています。

このような事業環境において、当社グループの当第3四半期連結累計期間は、半導体市況の回復の遅れの影響を受け、プローブカード事業においては想定を下回る売上高となりました。TE事業においても、想定を下回り厳しい状況となりました。一方、固定費の圧縮に努めたことで、営業利益においては想定を上回りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高25,522百万円（前年同期比15.3%減）、営業利益2,663百万円（前年同期比57.7%減）、経常利益2,736百万円（前年同期比61.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,736百万円（前年同期比61.0%減）となりました。

<セグメントの状況>

(各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。)

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① プローブカード事業

半導体のDRAM市況によりメモリ向けプローブカードの受注高は増加しました。一方、売上高に関しては、メモリ向け、ノンメモリ向けともに一部製品の売上シフトにより想定を下回る結果となり、売上高、営業利益ともに前年同期比で減収減益となりました。

この結果、売上高は24,298百万円（前年同期比11.6%減）、セグメント利益は5,034百万円（前年同期比37.1%減）となりました。

② TE事業

売上高は、半導体及びFPD市場の需要減速の継続及び、予定していた製品の売上シフトにより想定を下回る結果となりました。

この結果、売上高は1,223百万円（前年同期比53.8%減）、セグメント損失は635百万円（前年同期は84百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,968百万円減少し、52,417百万円となりました。有形固定資産の「その他(純額)」に含まれる建設仮勘定が1,983百万円、建物及び構築物(純額)が1,289百万円、棚卸資産が445百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が4,076百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が2,672百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,191百万円減少し、13,562百万円となりました。未払法人税等が1,232百万円、支払手形及び買掛金が890百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ223百万円増加し、38,854百万円となりました。利益剰余金が537百万円減少しましたが、為替換算調整勘定が727百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが属する半導体、FPD市場の直近の市場環境及び動向等を踏まえ、2023年8月10日に公表した2023年12月期通期連結業績予想を見直し、開示いたしました。詳細につきましては、本日(2023年11月13日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,552	17,476
受取手形、売掛金及び契約資産	8,291	5,619
製品	889	808
仕掛品	3,841	4,562
原材料及び貯蔵品	2,922	2,728
その他	889	1,386
貸倒引当金	△40	△41
流動資産合計	38,347	32,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,844	5,133
機械装置及び運搬具(純額)	3,778	3,971
その他(純額)	5,557	7,741
有形固定資産合計	13,179	16,846
無形固定資産	990	959
投資その他の資産		
投資有価証券	721	818
退職給付に係る資産	110	83
その他	1,238	1,395
貸倒引当金	△202	△225
投資その他の資産合計	1,867	2,072
固定資産合計	16,038	19,877
資産合計	54,385	52,417
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,352	4,461
短期借入金	834	711
未払法人税等	1,321	89
賞与引当金	1,222	1,418
役員賞与引当金	398	66
製品保証引当金	270	341
その他	3,740	3,757
流動負債合計	13,139	10,845
固定負債		
長期借入金	439	476
退職給付に係る負債	2,104	2,177
その他	70	63
固定負債合計	2,614	2,717
負債合計	15,754	13,562

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,018	5,018
資本剰余金	6,005	6,029
利益剰余金	27,194	26,656
自己株式	△1,312	△1,275
株主資本合計	36,905	36,428
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	322	396
為替換算調整勘定	1,258	1,985
退職給付に係る調整累計額	76	44
その他の包括利益累計額合計	1,657	2,425
新株予約権	68	—
純資産合計	38,631	38,854
負債純資産合計	54,385	52,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	30,135	25,522
売上原価	16,449	14,443
売上総利益	13,686	11,079
販売費及び一般管理費	7,383	8,415
営業利益	6,302	2,663
営業外収益		
受取利息	25	48
受取配当金	22	29
受取賃貸料	40	46
受取報奨金	30	53
還付金収入	15	—
為替差益	638	43
その他	45	63
営業外収益合計	818	284
営業外費用		
支払利息	4	4
支払手数料	7	204
その他	2	2
営業外費用合計	13	211
経常利益	7,107	2,736
特別利益		
固定資産売却益	3	2
新株予約権戻入益	0	56
特別利益合計	3	59
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	1	15
特別損失合計	3	15
税金等調整前四半期純利益	7,107	2,780
法人税、住民税及び事業税	2,589	1,107
法人税等調整額	70	△63
法人税等合計	2,660	1,044
四半期純利益	4,447	1,736
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,447	1,736

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	4,447	1,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△191	73
為替換算調整勘定	821	727
退職給付に係る調整額	△37	△32
その他の包括利益合計	591	768
四半期包括利益	5,038	2,504
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,038	2,504

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、2023年4月27日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役（監査等委員である取締役、社外取締役及び非居住者である取締役を除く）に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式12,154株を処分いたしました。さらに、ストック・オプションとしての新株予約権の権利行使により、当第3四半期連結累計期間において自己株式29,700株を処分いたしました。

以上を主な要因として、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が24百万円増加し、自己株式が36百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が6,029百万円、自己株式が1,275百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	プローブ カード事業	TE事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,486	2,649	30,135	—	30,135
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	27,486	2,649	30,135	—	30,135
セグメント利益	7,998	84	8,083	△1,780	6,302

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,780百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	プローブ カード事業	TE事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,298	1,223	25,522	—	25,522
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	24,298	1,223	25,522	—	25,522
セグメント利益又は損失 (△)	5,034	△635	4,398	△1,735	2,663

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,735百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。